

事務事業名		交通指導員設置事業					評価区分(事前評価・事後評価)			事後評価(A・B表)			
政策体系	基本目標	1 地域の特色を活かした快適なまちづくり					事業区分	担当組織	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	
	政策	1 安心して安全に暮らせるまちづくり						担当係	生活安全係	担当課長名	菊地昌之		
	施策	2 交通安全・防犯対策の推進						新規事業・継続事業	継続事業				
	基本事業	1 交通安全意識の高揚						実施計画事業・一般事業	一般事業				
予算科目	短縮コード	会計	款	項	目	予算細事業名		市単独事業・国県補助事業	市単独事業				
	1555	一般	2	1	10	交通指導員設置事業		任意的事業・義務的事業	任意的事業				
事業計画	単年度繰り返し	事業期間	S45年度～ 年度		根拠法令 条例等	佐野市交通指導員及び交通教育指導員規則、佐野市交通指導員服規程		実施方法	直営				
								事業分類	教育・指導事業				
								リーディングプロジェクト	該当なし				
								市長マニフェスト	該当なし				

1. 事務事業の現状把握【DO】

(1) 事務事業の手段・目的・結果・各指標

① 手段(事務事業の主な活動内容を記入します。)								
事業概要(具体的な事務事業の活動内容・進め方)		平成26年度実績(平成26年度に行った主な活動内容)						
児童の登校時の安全確保のため、市内通学路に交通指導員を配置している。各種行事における交通整理のため、各所管課等の要請に応じ、交通指導員を派遣している。		<ul style="list-style-type: none"> 児童の登校時の安全確保のため、市内通学路に交通指導員を配置 各種行事における交通整理のため、各所管課等の要請に応じ、交通指導員を派遣 						
		活動指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		交通指導員配置箇所	箇所	60	60	60	60	60
		交通指導員派遣回数	回	30	31	29	29	29
		交通指導員派遣人数(のべ人数)	人	202	230	200	200	200
② 対象(この事務事業は誰・何を対象としていますか?)								
①市民 ②児童		対象指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(見込)	28年度(見込)	29年度(見込)
		市民(人口)	人	123,182	122,582	121,522	121,522	121,522
		児童数	人	6,145	6,083	5,950	5,950	5,950
目的								
③ 意図(この事務事業によって、対象をどのような状態にしたいのですか?)								
①交通安全に対する意識を高めてもらう。 ②交通ルールを守ってもらう。		成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		交通事故件数/市民	%	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
④ 結果(どのような結果に結びつきますか?)								
市民の交通安全意識の高揚を図り、交通事故を減少させる。		上位成果指標	単位	25年度(実績)	26年度(実績)	27年度(目標)	28年度(目標)	29年度(目標)
		交通事故件数	件	460	437	540	530	520

(2) 総事業費の推移・内訳

事業費	財源内訳	単位	25年度(実績)		26年度(実績)		27年度(目標)		28年度(目標)		29年度(目標)	
			項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費	項目	事業費
投入量	国庫支出金	千円										
	県支出金	千円										
	地方債	千円										
	その他	千円										
	一般財源	千円	44,249		44,208		44,361		44,361		44,361	
	事業費計(A)	千円	44,249		44,208		44,361		44,361		44,361	
	事業費の内訳	千円	交通指導員報酬	43,560	交通指導員報酬	43,500	交通指導員報酬	43,560	交通指導員報酬	43,560	交通指導員報酬	43,560
			普通旅費	13	普通旅費	13	普通旅費	27	普通旅費	27	普通旅費	27
			消耗品費	676	消耗品費	695	消耗品費	750	消耗品費	750	消耗品費	750
人件費	人	2		2		2		2		2		
のべ業務時間	時間	470		470		480		480		480		
人件費計(B)	千円	1,829		1,852		1,892		1,892		1,892		
トータルコスト(A)+(B)	千円	46,078		46,060		46,253		46,253		46,253		

事務事業名	交通指導員設置事業	担当部	市民生活部	担当課	交通生活課	担当係	生活安全係
-------	-----------	-----	-------	-----	-------	-----	-------

(3) 事務事業を取り巻く環境変化・市民の意見等

①この事務事業は、いつ頃、どのようなきっかけで開始しましたか？	交通量の増大に伴い交通事故が増加し、特に児童に対する対策が急務となり、児童を交通事故から守るための対策として昭和45年から事業を開始した。
②事務事業を取り巻く環境(対象者や国・県などの法令等、社会情勢など)は事務事業の開始時期や合併前と比べてどのように変化していますか？	児童を含む交通事故の発生件数は減少傾向にあるが、東北自動車道及び北関東自動車道の開通や大型ショッピングの出店など、交通環境の変化により死亡事故等の重大な事故が増加している。特に、高齢化社会に伴い高齢者が当事者となる交通事故が増加している。また近年は、女性が当事者となる死亡事故が多発し、対策が迫られている。
③この事務事業に対して、関係者(市民、議会、事務事業対象者)からどのような意見・要望がありますか？	平成18年6月議会において、交通指導員を増員する考えはあるのかという質疑があった。

(4) 前年度の評価結果に対する改革・改善の取組

前年度の評価結果	評価結果を受けて行った具体的な改革・改善の取組
事業のやり方改善(成果向上の見直し)	交通指導員の立哨内容、町会、学校の事業へに派遣について、内容の改善を図り、また、交通事故の減少に結びつくよう研修会に参加をし能力の向上に努めた。

2. 事務事業の事後評価【Check】

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的(対象・意図)は、政策体系(結果)に結びついていますか？	結びついている	理由・改善案 交通指導員を配置し、児童を安全に誘導したり、各種行事に交通指導員を派遣して交通整理を実施することは、児童や市民を交通事故から守るとともに、交通事故の減少に貢献するものである。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事務事業を市が行わなければならないのですか？ 民間やNPO、市民団体などに委ねることはできませんか？	市が行わなければならない	理由・改善案 交通事故のない安全・安心のまちづくりのため、交通指導員を配置して児童の安全な誘導や各種行事に交通指導員を派遣して交通整理などの交通安全対策を実施し、交通事故防止を図ることは市の重要な責務である。
	③対象・意図の妥当性 事務事業の現状や成果から考えて、対象と意図を見直す必要がありますか？	妥当である	理由・改善案 この事業は、交通指導員の配置や派遣を行い、児童や市民の交通事故の減少を目指す目的で実施しており、対象と意図は合っている。
有効性 評価	④事務事業の成果向上余地 事務事業の成果は出ていますか？ 事務事業のやり方・進め方を見直すことで成果を向上させることができますか？	成果向上余地がある程度ある	理由・改善案 交通指導員を配置している登校時には、児童の交通事故は発生していない。また、交通指導員を派遣している各種行事中にも交通事故が発生していないが、児童等が通学時以外も交通事故に遭わないように通学時の指導を徹底する必要がある。
	⑤類似事務事業との統合・連携の可能性 類似の目的や活動形態を持つ他の事務事業がありますか？ ある場合は、その事務事業との統合・連携ができますか？	類似事務事業はない	理由・改善案 類似事務事業名
効率性 評価	⑥事業費・人件費の削減余地 事務事業の成果を低下させずに事業費・人件費を削減することができますか？	削減の余地はない	理由・改善案 交通指導員設置事業を円滑に行うため、最低限の事業費及び人件費で実施しており、削減の余地はない。
	⑦受益者負担の適正化余地 この事務事業の受益者は誰ですか？事務事業の目的や成果から考えて受益者負担を見直す必要がありますか？	受益者負担を求める必要がない	理由・改善案 この事業は、交通安全対策を効率的、効果的に進めるための行政内部の事業であるが、結果として安全・安心のまちづくりに貢献するものなので、結果的に受益者は不特定多数の児童や市民であるため、受益者は特定されず、負担を求める余地はない。
総合 評価	⑧本事業の休止・終了条件(本事業はどんな状態になれば休止・廃止、事業終了となるか？) 安全・安心のまちづくりを図るために交通安全対策の推進が継続される限り、この事業を継続する必要がある。。		

3. 評価結果の総括と今後の方向性【Action】

(1) 今後の事務事業の方向性	(2) 改革・改善による期待効果	(3) 改革・改善を実現するうえで解決すべき課題(壁)とその解決策																					
事業のやり方改善(成果向上の見直し) * 評価結果に基づいた改革改善案を記入します。(複数ある場合は、①②・・・と記入します。現状維持の場合は記入しません。) 通学時に児童の交通指導を徹底する。	廃止・休止の場合は、記入不要 ×の領域は改革改善ではない。 <table border="1" style="margin-left: 20px;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×	交通指導員の指導力向上のための研修等の実施
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上		○																				
	維持			×																			
	低下		×	×																			